

エチオピア ヤルガッチャフェ村を訪ねて

エチオピアの大地が育てた野生のコーヒー



2005年4月アンドロメダエチオピアコーヒー、ヤルガッチャフェが生産される地域に向かいました。車で4～5時間と聞いていましたが、8時間かかりました。途中、大きな牛が車に激突し、車が壊れました。

が、何とか走れる状態でしたので、引き続き向かいました。天高く、空気は澄み、自然のエネルギーがあふれる地ヤルガッチャフェのふるさとでした。いるだけで元気が生まれる素晴らしい地です。ヤルガッチャフェは、ナチュラルコーヒーで、森の中で生まれ育ちます。バナナ等と共に育つのです。緑の粒のコーヒー豆が一杯ついている木を見る度、喜びが生まれます。自然の恵み、天からの賜り物であるコーヒーを世界に伝えるという気持ちが生まれます。

アンドロメダエチオピアコーヒー誕生



エチオピアはコーヒー発祥の地でもありました。森から生まれますので100%ナチュラルコーヒーで、自然環境を破壊する事はありません。

現地では薬の様に飲まれています。新鮮な香りを嗅ぐだけで心臓に良いとも聞きました。胃腸のたらしが良くなることも聞いています。現地では、最上質のコーヒー豆である事を誇りと感じていますが、エチオピアの名が表に出ることはなく、他の豆とブレンドされる事もあり、誇り高い最上質のエチオピアコーヒーがそのまま市場に出る事はないことを、大変残念に思っています。

NPO 高麗では「そのまま伝えてほしい」「搾取のないビジネスこそが貧困の解決である」との要望により、利益は農民に還元する仕組み作りと、アンドロメダエチオピアコーヒーのブランド作りを考え、今やっと第一歩がはじまったのです。